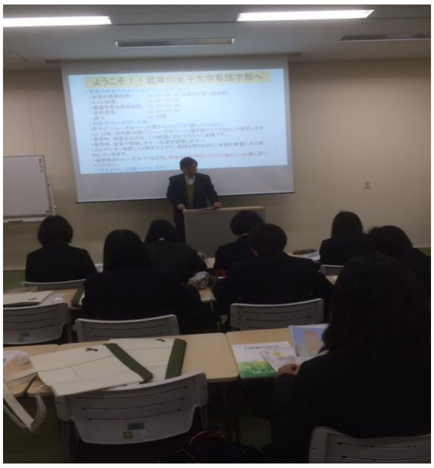
武庫川女子大学 看護学部看護学科へ行ってきました

2016.2.15 MON

総合人間類型の将来看護師を目指している生徒が集まり、武庫川女子大学看護学部の看護科学館の入試がイダンスと施設見学に行ってきました。



初めに、ガイダンスを受けました

【感想】私は、教育系を目指しているので看護系ではないですが、今回のような機会に参加して損はないっ!!と思い参加しました。看護学科の先生の殆どが博識を持っていてすごいと思った。環境がすごし整っていて実際の現場より近い設備だったりして実習で対応しやすいんじゃないかなと思いました。赤ちゃんのこと、地域の保健福祉のことなど、日常の看護という仕事について学ぶことができ参加してよかったです。

【感想】今日一番感じた事は、看護には幼児教育とか福祉とかいろいろな要素が入っているということです。今まで総合の授業で様々な職種の方に来ていただいてお話を聞いてきたけど、看護系のお話の時以外は私には関係ないという思いが少しですがありました。でも、今回施設見学をして話を聞いて看護の奥深さを感じました。看護は私のイメージしていた病院だけではなく、保健師さんや、訪問看護等があるし、病院で成人・老人・小児とか急性・慢性など看護といっても様々な分野がありました。まだ、何が勉強したいかは分からないけど、施設もすごくきれいだったし、イメージは膨らんだから参加して良かったです。もう一つは、教授がおっしゃっていた「看護は人と向き合う仕事だから厳しくてダメだったらすぐに留年になっちゃう…」という言葉です。やはり命も関わる仕事なので甘さはないと思いました。本当に色々知ることが出来て良かったです。

【感想】建物の中は、階数によって色々と分けられていました。本物の病院の様な作りになっていて、ベッドもあったしナースコールもありました。私が、一番面白いなと思った所は、家が本物みたいに再現されていたことです。畳の部屋やキッチン、お風呂があって「ここなら介護とかも実践できるから、いい勉強になる」と感じました。私は、今将来の夢がありすぎて迷っていますが看護師も追加されました。今回いって一番強く思ったのは、「学年末考査頑張ろう」ということです。目の前の事を一生懸命していけば、遅くても結果は出るのかなと思います！！

参加して初めて分かる事も多いですよね。これからも、積極的にチャレンジ!!して行きましょう(*^_^*)